未来の夢計画

クラブの資格条件に関してよく尋ねられる質問

問: クラブが参加資格を維持するために従わなければならないロータリー財団の要件は何ですか。

答: ロータリー財団は、クラブに「クラブの覚書（MOU）」に同意し、これに署名すること、また地区が実施する地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席することを義務づけています。

地区は、署名付きのクラブの覚書とセミナー出席者のリストを記録として保管しておくべきです。これらの書類は財団に提出するものではありません。

問: 地区ロータリー財団補助金管理セミナーは、いつ実施されますか。

答: 財団は、セミナーを会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区協議会、あるいは地区大会と付随して実施することを推奨していますが、地区は、全クラブを対象に、セミナーを別個に実施することもできます。

また、PETSと地区協議会の両会議に付随して1回ずつセミナーを実施したり、その後も年度を通じて補習の研修を実施するなど、複数回にわたって研修を提供するよう奨励されています。

問: クラブはほかの地区のセミナーに出席できますか。

答: クラブは、地区の補助金管理セミナーが多地区合同行事として実施される場合にのみ（多地区合同PETSと付随してセミナーが実施される場合など）、ほかの地区のセミナーに出席できます。

⇒ 多地区合同セミナーを実施するかどうかは地区の裁量に任されています。

⇒ 多地区合同セミナーを実施する地区は、地区の具体的な資格要件について、クラブに確実に研修を提供する必要があります。

⇒ セミナーがどこで開催されるかにかかわらず、地区はクラブに対し全面的な責務を持つことになります。

問: 誰が地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席しますか。

答: 少なくとも、参加資格を得たいと望むクラブのクラブ会長、あるいは会長により任命された代表者が、セミナーに出席しなければなりません。会長が出席できない場合、クラブは、クラブ役員、またはクラブの補助金管理を担当するその他の会員を出席者として任命する必要があります。

⇒ ほかに何人の会員がセミナーに出席するかは、地区で決定することができます。

⇒ 地区は、可能な限り、ロータリー財団の補助金に関心を持つクラブ会員全員にセミナーに

出席するよう奨励すべきです。

⇒ セミナーへの出席は、クラブが資格を満たすための要件の一つです。地区は、セミナーに代表者を派遣していないクラブに資格を与えることはできません。

問: 地区は、クラブにその他の資格条件を課すことはできますか。

答: 地区は、財団の要件に加え、その他の資格条件をクラブに課すこともできますが、既にクラブの覚書にどのような要件が含まれているかを先に確認する必要があります。

問: その他の要件として、地区ではどのようなものを設定したらよいでしょうか。

答: 地区は、追加の資格条件を設定する際に、地元の法律、または地区独自の事情について考慮する必要があります（例えば、会計基準やその他の留意事項など）。

⇒ クラブの資格条件は、グローバル補助金への参加を希望する全クラブが満たせるものであるべきです。従って、地区は、条件が過度に厳しいものとならないよう追加の資格条件を慎重に設定する必要があります。

⇒ 地区内の全クラブに対し、同じ資格条件を設定しなければなりません。

⇒ 特定のクラブを除外するために意図的に追加の条件が加えられた場合（例えば、クラブ会員全員がポール・ハリス・フェローとなることを義務づけるなど）、地区は参加資格を失う恐れがあります。

問: 資格条件を満たしていないクラブから新地区補助金の要請があった場合、地区はどのように対処したらよいでしょうか。

答: 資格条件を満たしていないクラブに新地区補助金を授与するかどうかは、地区が独自の裁量で決めることができます。ただし、資格条件を満たしていないクラブに配分された補助金資金の使用について、地区は全責任を負うことになります。

問: クラブの資格条件に関して誰が責任を持っていますか。

答: 地区ロータリー財団補助金小委員会が、クラブの資格条件付与と研修の実施において責任を持っています。地区ロータリー財団委員長には、クラブの資格条件の状況を確認し、これに関する財団からの問い合わせに答える責務があります。